

Version: 2026 年 7 月

# LSEG Workspace | Entra

管理者ガイド



## 目次

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 本書の概要.....                          | 2  |
| 対象範囲.....                           | 2  |
| お問い合わせ.....                         | 2  |
| 必要条件.....                           | 3  |
| Entra 設定手順.....                     | 4  |
| Workspace ギャラリー アプリの接続.....         | 5  |
| 追加リソース.....                         | 7  |
| Entra テナント ID の確認.....              | 8  |
| Client Admin Tools アプリへのアクセス.....   | 9  |
| Client Admin Tools でのテナント登録.....    | 10 |
| LSEG ユーザー プロビジョニング アプリ設定.....       | 11 |
| アプリ属性のマッピング.....                    | 13 |
| グループ属性のマッピング.....                   | 13 |
| ユーザー属性のマッピング.....                   | 13 |
| 一致しない userName の変更.....             | 15 |
| 既存の Entra 属性のマッピング.....             | 15 |
| 属性マッピングのカスタマイズ.....                 | 15 |
| Expression Builder 使用.....          | 16 |
| Admin ポータルでのプロビジョニング.....           | 18 |
| Admin ポータルでのユーザーのプロビジョニング解除.....    | 19 |
| Workspace へのアクセスが不要になったユーザーの削除..... | 19 |
| 組織を退職したユーザーの削除.....                 | 20 |
| 新しい Secret Token の生成.....           | 21 |
| Workspace へのアクセス.....               | 22 |
| Workspace のダウンロード.....              | 22 |
| Workspace ウェブのアクセス.....             | 22 |
| 便利なリンク.....                         | 24 |
| 関連ドキュメント.....                       | 24 |

# 本書の概要

LSEG Workspace は現在、Microsoft Entra によるユーザー認証に対応しています。本書では組織内のユーザーを Workspace に関連付け、シームレスに製品にアクセスできるようにするための手順を説明します。

最先端の顧客体験を提供するため、LSEG Workspace は HERE Core (旧 OpenFin) プラットフォーム上で動作します。HERE Core は生産性向上を支える技術基盤であり、今後の長期的な戦略においても中核的な役割を担う予定です。HERE Core は、世界の主要銀行の 90% で利用されており、3,800 社を超えるバイサイドおよびセルサイド企業に対して、3,500 を超えるデスクトップ アプリケーションを提供しています。

## 対象範囲

LSEG Workspace | Entra - 管理者ガイドは、LSEG Workspace for HERE Core (以下 *Workspace*) および Microsoft Entra テナントの運用・管理を担当するお客様サイトの管理者を対象としています。

## お問い合わせ

- さらにサポートが必要な場合 [お問い合わせ](#)ください。
- Workspace の技術的な内容に関するフィードバックについては [DocFeedback@lseg.com](mailto:DocFeedback@lseg.com) までご連絡ください。

# 必要条件

LSEG Workspace で Microsoft Entra 認証を利用するユーザーを登録するには、管理者は以下の要件を満たしている必要があります。

- SCIM (System Cross-domain Identity Management) 用の認証情報をプロビジョニングするための Workspace アクセス権。<sup>1</sup>
- Entra テナントを登録するための [Workspace Admin Tools](#) アプリへのアクセス権。
- 認証構成を完了するための Microsoft Entra 管理者権限<sup>2</sup>

✦ Workspace Admin Tools アプリへの初期アクセスには、テナント登録の権限は含まれていません。追加の権限が必要です。これらの権限を取得するには、[MyAccount サポートチャネル](#) 経由で LSEG にご連絡いただくか、担当アカウントチームまでお問合せください。

---

<sup>1</sup> SCIM は、エンティティ間でアイデンティティ情報を交換する仕組みを標準化するためのプロトコルです。

<sup>2</sup> Microsoft Entra の管理者と Workspace の管理者は、同一人物である必要はありません。

# Entra 設定手順

Entra アクセス用ユーザーの設定は、以下の手順で実施します。

- [Workspace ギャラリー アプリの接続](#)
- [Entra テナント ID の確認](#)
- [Client Admin Tools アプリへのアクセス](#)
- [Client Admin Tools でのテナント登録](#)
- [LSEG ユーザープロビジョニングアプリの設定](#)
- [Admin ポータルでのプロビジョニング](#)
- [アプリケーション属性のマッピング](#)

また手順完了後は[便利なリンク](#) セクションでサードパーティから提供された追加資料を確認できます。

# Workspace ギャラリー アプリの接続

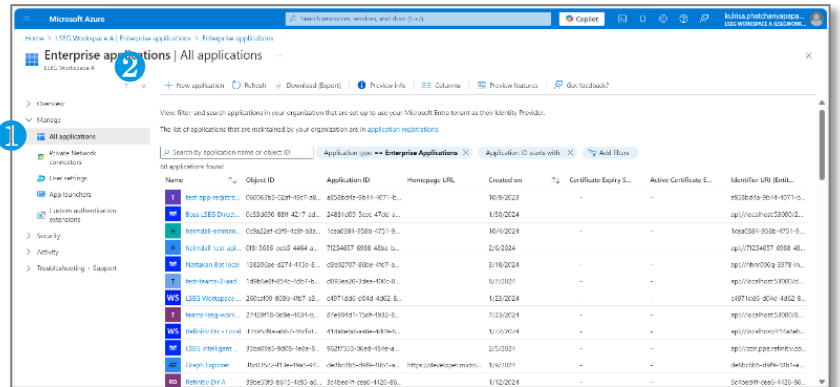
Workspace ギャラリー アプリを Entra テナントに追加する必要があります。これにより、ユーザーは Microsoft の認証情報を使用して Workspace アプリケーションにアクセスできるようになります。<sup>3</sup>

アプリケーションをテナントに追加すると、多要素認証（MFA）や準拠デバイスなどの条件付きアクセス ポリシーを適用できるようになります。条件付きアクセスの詳細については、Microsoft Learn の [Plan a Conditional Access deployment](#) ページを参照してください。

Workspace を Entra テナントにプロビジョニングするには、以下の手順を実行します。

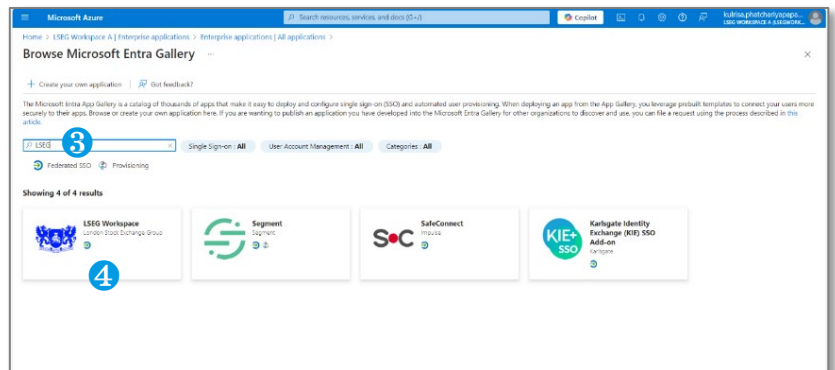
## 1. Microsoft Azure ポータルで

[Enterprise applications] を選択し、  
[Manage] > [All applications] ① に移動し、  
[New application] を選択します。②



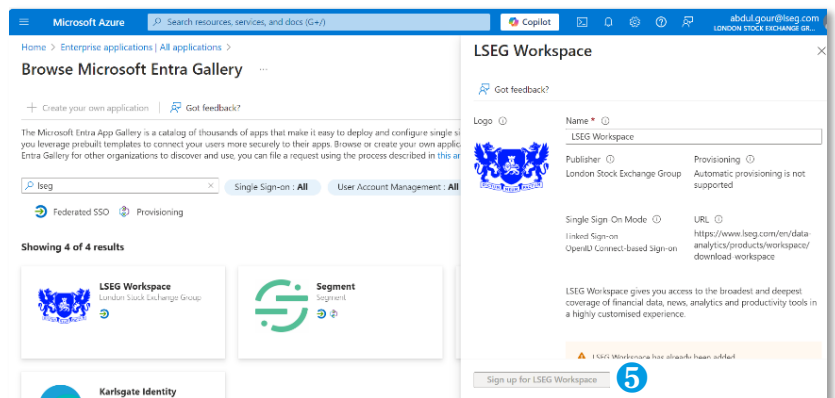
## 2. 検索ボックスに③ 「LSEG」と入力します。

## 3. フィルター結果から「LSEG Workspace」アプリを選択します。④



LSEG Workspace app パネルが表示されます。

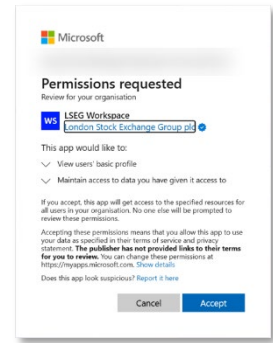
## 4. [Sign up for LSEG Workspace] ボタンをクリックします。⑤



<sup>3</sup> 現在サポートされている Workspace アプリケーションの形態は Workspace | Web および Workspace | HERE Core です。

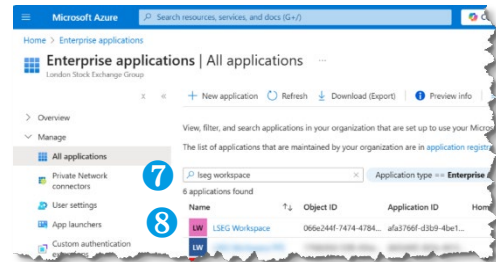
[Permissions requested] ダイアログボックスが開きます:

5. 続行するには [Accept] をクリックして、そのアプリでの認証を許可してください。  
いずれのオプションを選択した場合でも、アプリはテナントにインストールされます。



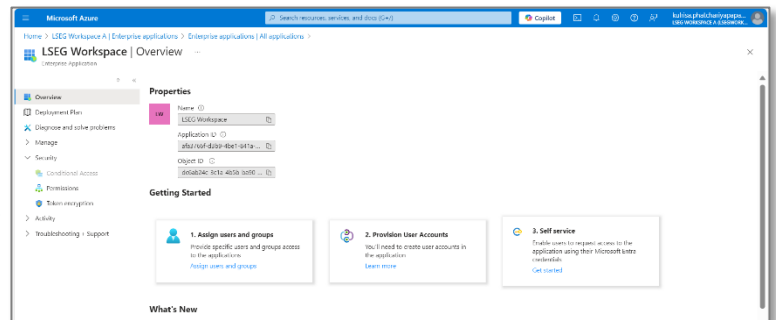
組織内のすべてのユーザーが個別に Workspace へのアクセス許可を付与する必要がないようにするには、以下の手順 6~9 を実施してください。

6. [Enterprise applications] > [Manage] > [All applications] へ戻ります。
7. 検索ボックスに「LSEG Workspace」と入力します。<sup>7</sup>
8. フィルターされた一覧から、スクリーンショットでハイライト表示されているピンク色のロゴが付いた LSEG Workspace を選択します。<sup>8</sup>  
[LSEG Workspace Overview] パネルが表示されます。



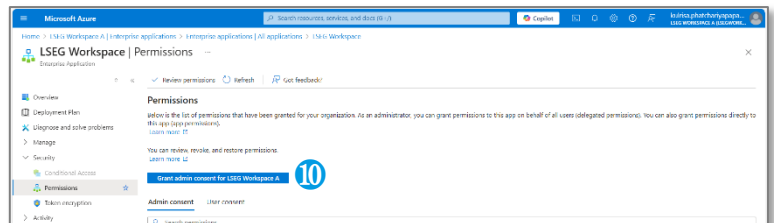
9. [LSEG Workspace Overview] パネルの左側のメニューで [Security] > [Permissions] を選択します。<sup>9</sup>

9

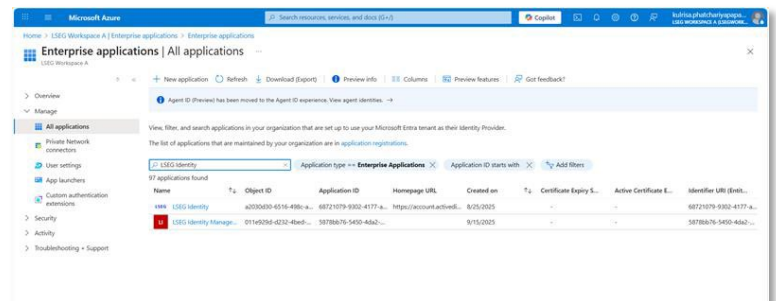


LSEG Workspace permissions パネルが表示されます (右の図)

10. [Grant admin consent for <tenant name>] ボタンを選択します。<sup>4</sup> <sup>10</sup>



11. LSEG Workspace へのアクセスを有効にするには、Microsoft Entra でアプリケーションに対するテナント全体の同意 (Tenant-wide Consent) を付与する必要があります。これにより、LSEG Workspace はお客様組織のユーザーを安全に認証できるようになります。



必要なアクセス許可を確認して承認するには、次のリンクをクリックしてください：

[https://login.microsoftonline.com/organizations/v2.0/adminconsent?client\\_id=afa3766f-d3b9-4be1-841a...](https://login.microsoftonline.com/organizations/v2.0/adminconsent?client_id=afa3766f-d3b9-4be1-841a-...)

<sup>4</sup> 管理者権限が付与されていない場合、組織内のユーザーが初めて Workspace にログインすると、アプリケーションへのアクセス許可の付与を求めるポップアップ ダイアログが表示されます。

## 追加リソース

### 詳細について

- アプリケーションへの管理者による同意の付与については、Microsoft Learn [Grant tenant-wide admin consent to an application](#) ページを参照してください。
- アプリの検証については、Microsoft Learn [What is app provisioning in Microsoft Entra ID?](#) ページを参照してください。



# Entra テナント ID の確認

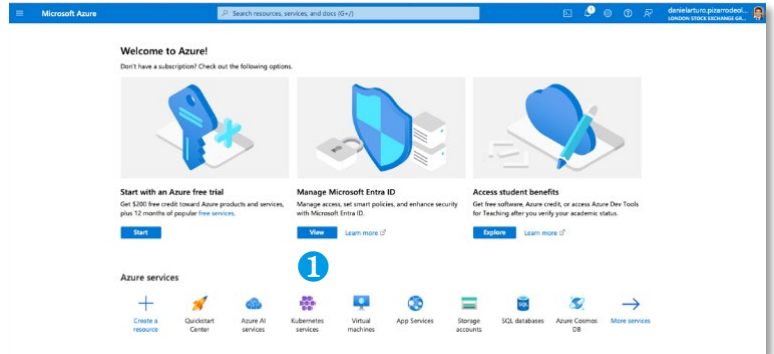
Microsoft Entra テナント ID は、Microsoft により組織に割り当てられる一意の識別子です。本 ID は、Client Admin Tools でテナント登録を行う際に必要です。

このコードを検索するには：

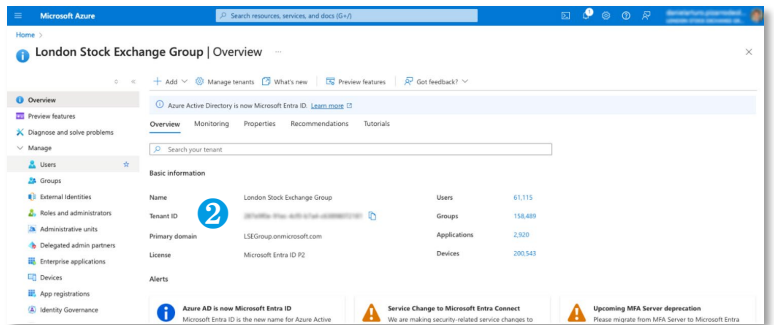
1. <https://entra.microsoft.com/> にログインします。

The Microsoft Azure Welcome ページが開きます (右図参照)。

2. [Manage Microsoft Entra ID] の [View] ボタンをクリックします。 ①



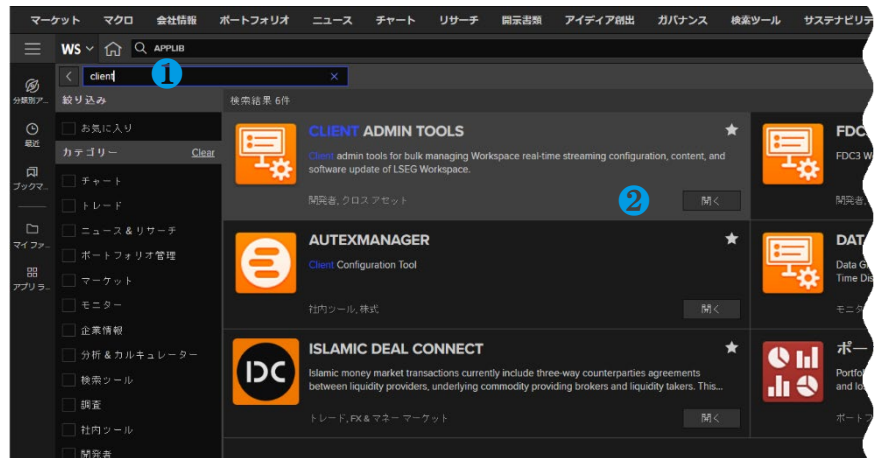
[Overview] ページが開き、テナント ID が [Basic Information] セクションの下に表示されます。 ②



# Client Admin Tools アプリへのアクセス

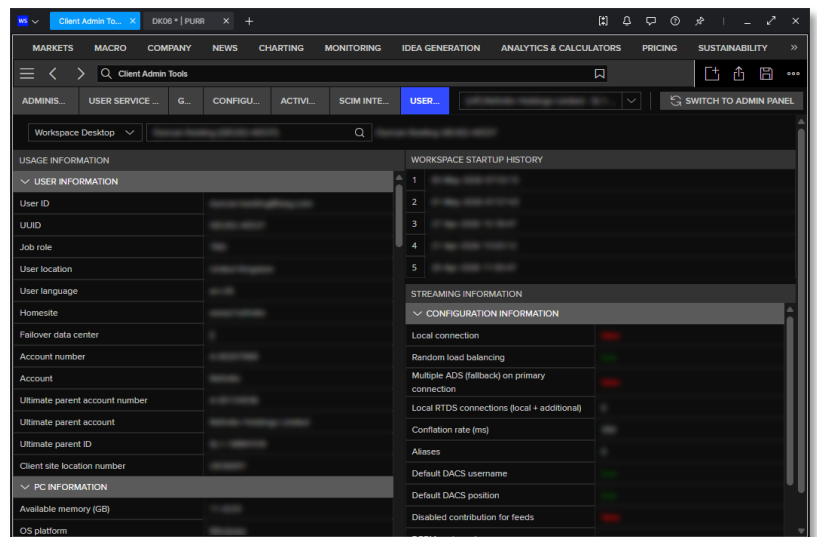
Client Admin Tools アプリにアクセスするには、次の手順を実行します:

1. Workspace にログインします。
2. [≡] メニューから [マイ アプリ] > [アプリ ライブラリ] を選択します。  
または、<Alt+L>キーで新しいブラウザーにアプリ ライブラリを表示できます。
3. 検索ボックスに「Client」と入力し、アプリ一覧を絞り込みます。①  
図例に表示されているように、該当するアプリが絞り込まれます。
4. [Client Admin Tool] アプリを実行するには [開く] をクリックします。②



Client Admin Tools アプリは、同じブラウザーウィンドウで起動します。

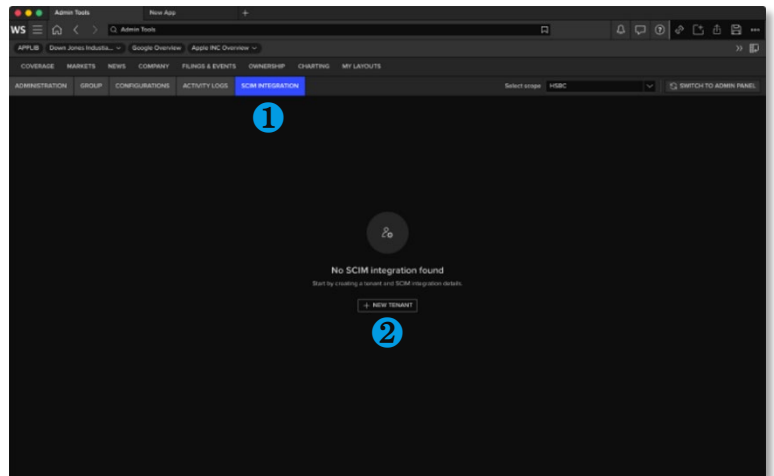
Client Admin Tools アプリの情報については、[Administration Tools Configuration Guide](#)を参照してください。



# Client Admin Tools でのテナント登録

Client Admin Tools アプリでテナントを登録するには、次の手順を実行します：

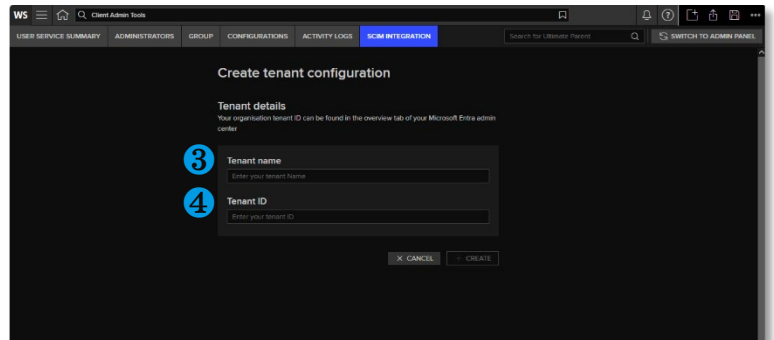
1. LSEG Workspace を起動し [Client Admin Tools] アプリを開きます。
2. [SCIM Integration] メニューを選択します。<sup>①</sup>
3. SCIM Integration パネル中央の [+ NEW TENANT] をクリックします。<sup>②</sup>



4. 組織の Tenant Name <sup>③</sup> と Tenant ID <sup>④</sup> を入力し、  
([Entra テナント ID の確認](#)を参照) [CREATE] をクリックします。

以下の自動処理が完了すると（緑色のチェックマークが表示されます）セットアップが正常に完了します。

- アプリケーションの作成
- アプリケーションの認証
- サービス アカウントの認証
- ライセンスの割り当て
- テナント設定の作成

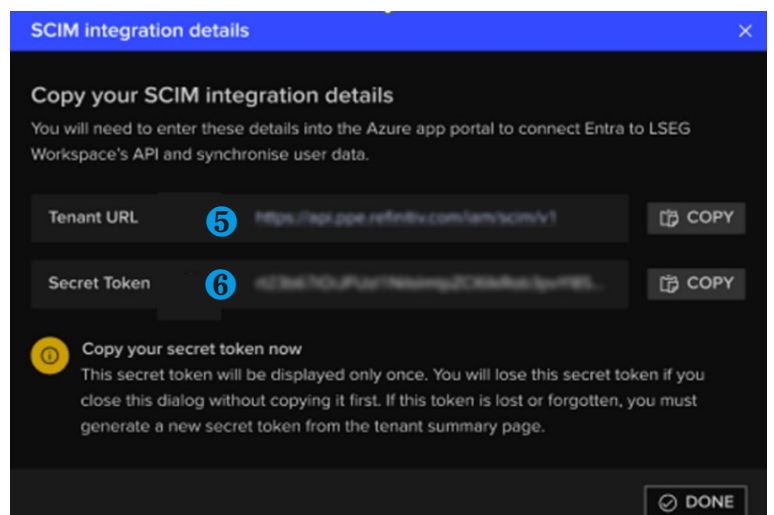


5. 生成された Tenant URL <sup>⑤</sup> と Secret Token <sup>⑥</sup> を、それぞれメモ帳（Notepad）などのテキストツールにコピーします。

SCIM シークレット トークンの有効期間は 6 カ月です。サービスを継続的に利用できるようにするため、有効期限が切れる前に更新する必要があります。

更新管理を支援するため、有効期限前に以下のタイミングで自動通知メールが送信されます：

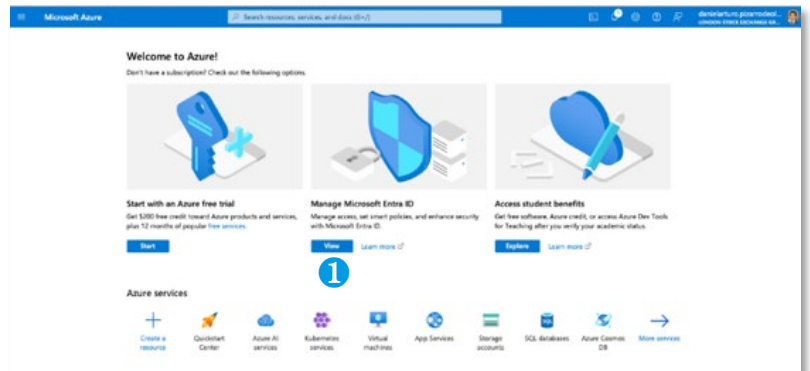
- 30 日前
- 10 日前
- 1 日前



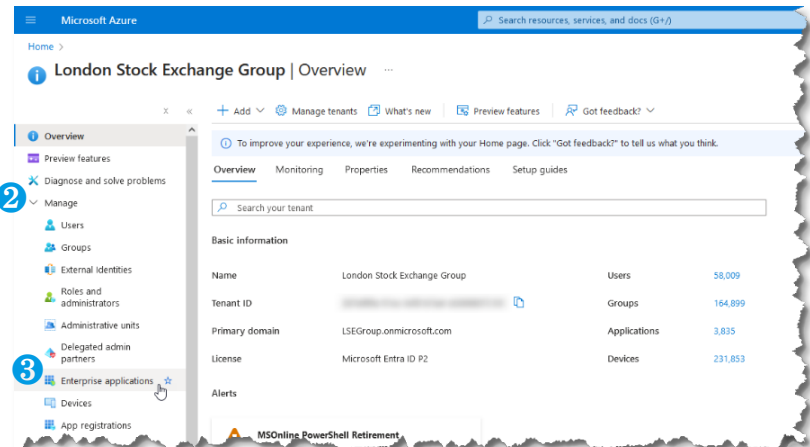
# LSEG ユーザー プロビジョニング アプリ設定

Microsoft Entra と統合された任意の LSEG アプリケーションに対してユーザーをプロビジョニングできるよう、Entra Admin ポータルでアプリケーションを設定するには、次の手順を実行します。

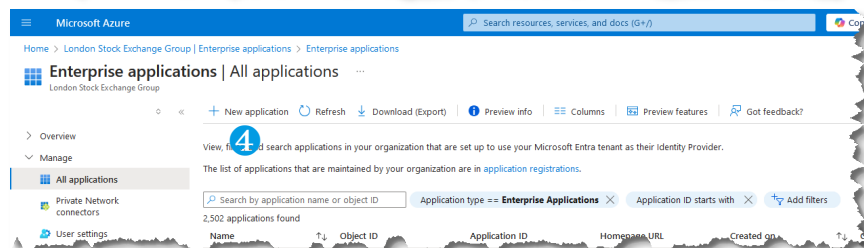
1. <https://portal.azure.com/#home> にログインします。
2. [Manage Microsoft Entra ID] の [View] ボタンをクリックします。①
3. [Overview] ページが開きます。



4. 左側のメニューから [Manage] ② > [Enterprise Applications] を選択します。③



5. [All applications] で [New application] を選択します。④



6. [Create your own application] をクリックします。⑤.

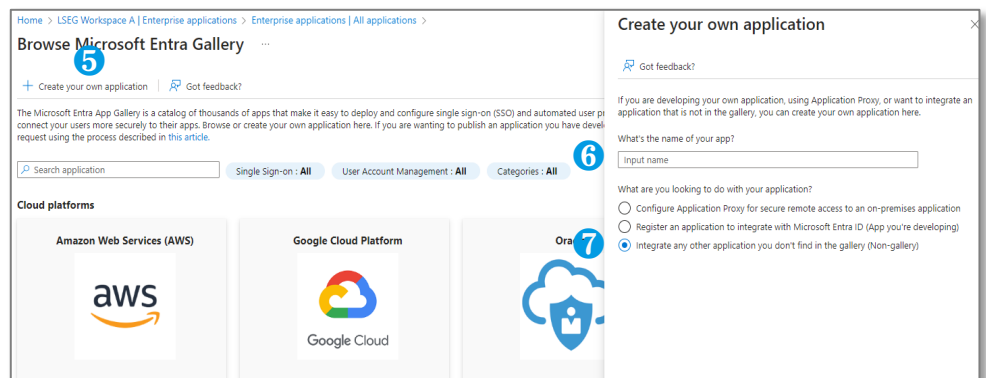
[Create your own application] サイドパネルが表示されます。

7. [What is the name of your app?] フィールドに、[LSEG SCIM] と入力します。⑥

8. [What are you looking to do with your application?] で、

[Integrate any other application

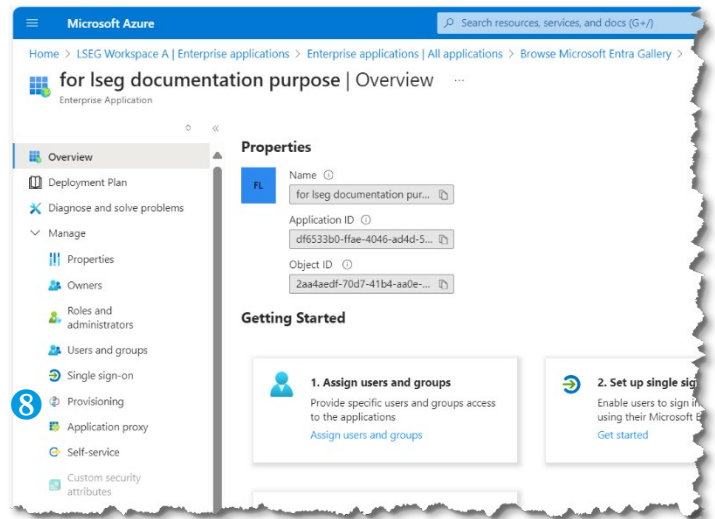
you don't find in the gallery (Non-gallery)] ラジオボタンを選択します。⑦



9. サイドパネルの一番下で [Create] ボタンをクリックします（上記の図には表示なし）

新しいアプリの [Overview] ページが表示されます。

10. 左側のメニューから [Manage] > [Provisioning] を選択します。

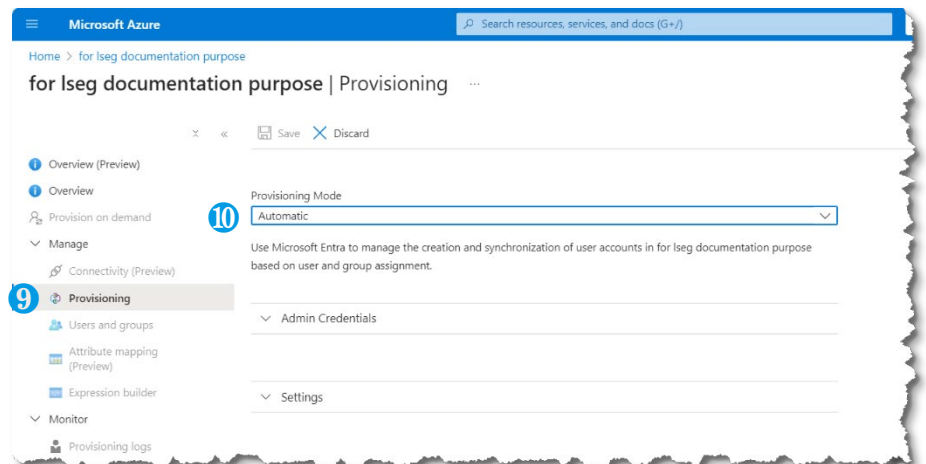


11. Overview (Preview) パネルで、[Manage] > [Provisioning] ⑨を選択します。

これにより、プロビジョニングパネルが表示されます。このパネルは、展開可能な 3 つのセクションで構成されています。

- Provisioning Mode
- Admin Credentials
- Settings

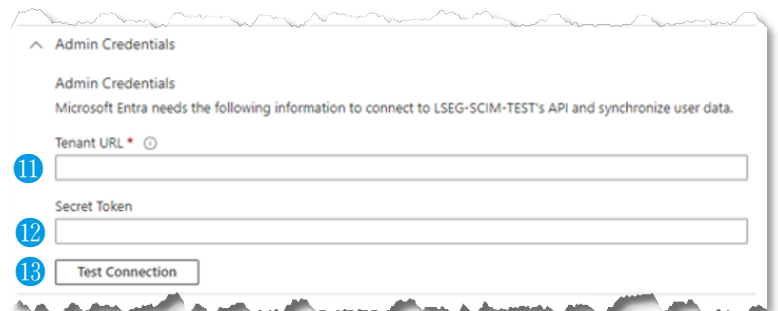
12. [Provisioning Mode] セクションで、[Automatic] を選択します。⑩。



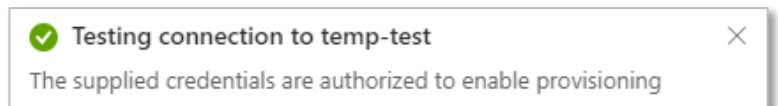
13. [Admin Credentials] セクションでは、上記のステップ 7 で取得した [Tenant URL] ⑪と [Secret Token] ⑫を入力します。

14. パネルの [Settings] セクションで、[Provisioning Status] が [Off] であることを確認します。<sup>5</sup>

15. [Test Connection] をクリックします。⑬



テストが成功すると、緑色のチェックマークと認証情報がプロビジョニングを有効にする権限を持っていることを確認するメッセージが表示されます。



<sup>5</sup> [Provisioning Status] のスライダースイッチは、次のページの冒頭にある図に示されています。

# アプリケーション属性のマッピング

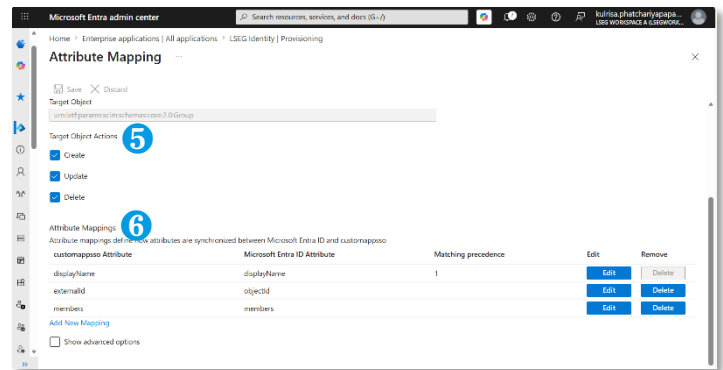
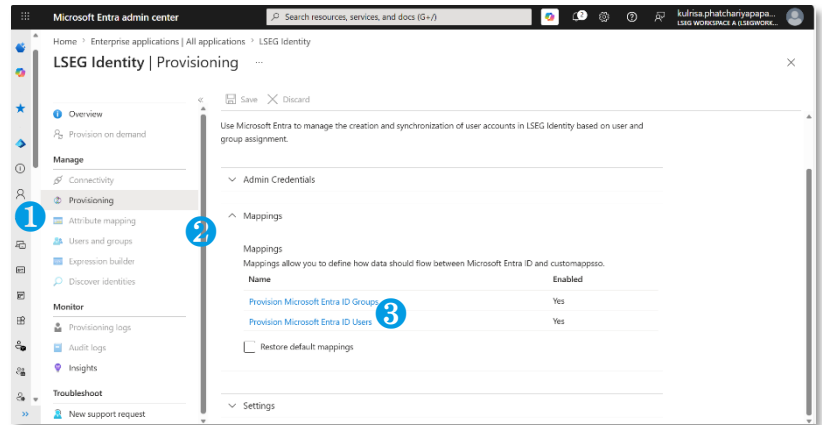
Microsoft Entra ID と LSEG CIAM 間でユーザーおよびグループの属性を同期するには、以下の手順に従ってください。

## グループ属性のマッピング

以下の手順では、グループ属性のマッピングについて説明しています。

**!** LSEG は現在、グループのプロビジョニングをサポートしていません。

1. 左側のメニューから [Manage] > [Provisioning] を選択します。
2. [Mappings] セクションを展開し [Provision Microsoft Entra ID Groups] をクリックします。
3. [Attribute Mapping] パネルが表示されます。
3. [Enabled] を [Yes] に設定します。<sup>6</sup>
4. [Target Object Actions] では 3 つのアクションすべてにチェックが入っていることを確認します。
5. 使用しない [Attribute Mappings] を削除します。<sup>6</sup>ただし以下の属性は保持してください。
  - DisplayName
  - externalid
  - members
6. [Save] をクリックします。

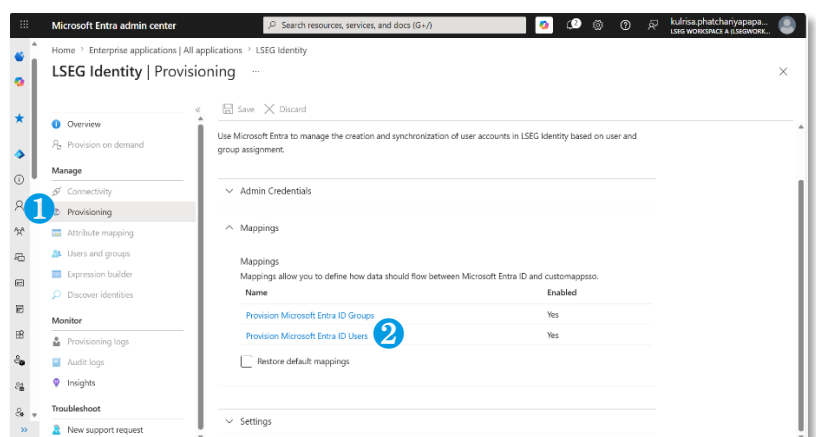


## ユーザー属性のマッピング

Workspace ユーザーを Microsoft Entra 認証で正常にプロビジョニングするには、Workspace ユーザー ID にマッピング可能な Entra 属性を設定する必要があります。<sup>7</sup>

既定では SCIM は Entra の userPrincipalName を Workspace User ID にマッピングしようとしています。しかし一部の環境では両者が一致しないため、この既定のマッピングが機能しない場合があります。その場合、以下の手順のようにユーザー属性のマッピングをカスタマイズし、Workspace ユーザー ID と一致する Entra 属性を選択します：

1. 左側のメニューから [Manage] > [Provisioning] を選択します。
2. [Mappings] セクションで、[Provision Microsoft Entra ID Users] オプションを選択します。



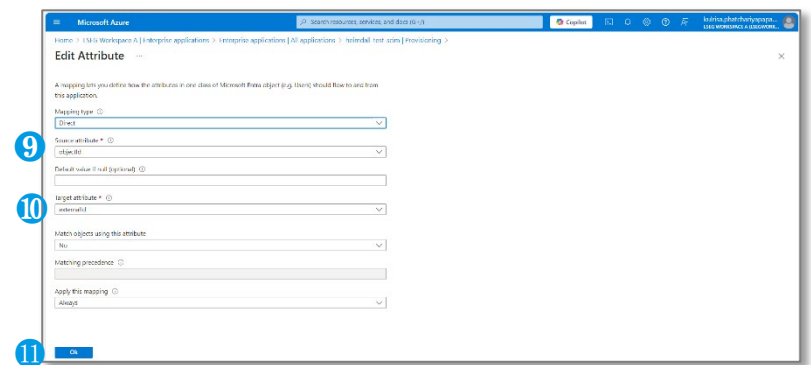
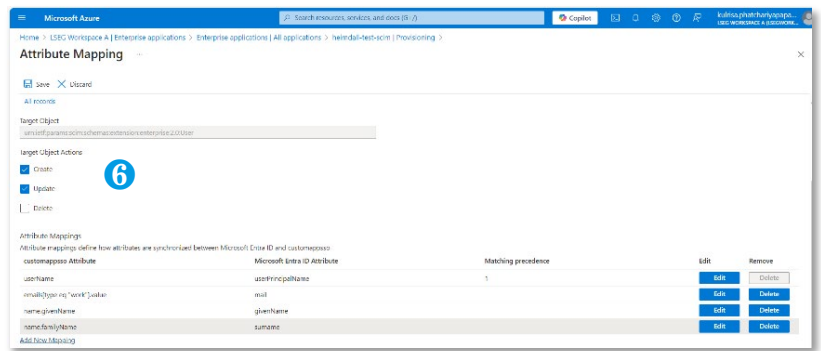
<sup>6</sup> グループをソースオブジェクトとして構成する場合は、[Enabled] スライダーを [No] に設定します。一方、個人 (Individual) オブジェクトの場合は [Yes] に設定します。

<sup>7</sup> Workspace ユーザー ID は、LSEG Workspace ユーザーを Microsoft Entra にオンボードするために使用されます。その他の製品では、Entra へのオンボードに独自のユーザー ID を使用場合があります。



[Attribute Mapping] パネルが表示されます。

3. [Enabled] を [Yes] に設定します。
4. [Target Object Actions] で ⑥ [Delete] のチェックボックスをオフにします。
5. 不要な [Attribute Mappings] を削除します。ただし、に示されている以下の属性マッピングは図示されている設定のまま保持してください ⑦
  - username
  - active
  - emails[type eq "work"].value
  - name.givenName
  - name.familyName
6. [Attribute Mapping] セクションの最下部にある [Add New Mapping] をクリックします。⑧, [Edit Attribute] パネルが表示されます。
7. [Source attribute] ドロップダウンから ⑨ [objectId] を選択します。
8. [Target attribute] ドロップダウンから ⑩ [externalId] を選択します。
9. 設定を保存し [Attribute Mapping] パネルに戻るには [OK] をクリックします。⑪.



10. 以下の表に示すとおり、属性マッピングを設定します。⑧

| この属性                         | マッピング先                                                      |
|------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| username (以下の警告を参照のこと)       | userPrincipalName                                           |
| active                       | Switch([IsSoftDeleted], , "False", "True", "True", "False") |
| name.givenName               | givenName                                                   |
| name.familyName              | surname                                                     |
| emails[type eq "work"].value | mail                                                        |
| externalId                   | objectId                                                    |



一致の優先順位 (Matching Precedence) を設定するのは username 属性のみ で、値は 1 に設定する必要があります。その他の属性には Matching Precedence を設定しないでください。

11. [Attribute Mapping] 見出しの下にある [Save] をクリックします ⑫



<sup>8</sup> これらのマッピングは表に示されているとおりに構成することが非常に重要です。マッピングが間違っていると、プロビジョニングが失敗します。

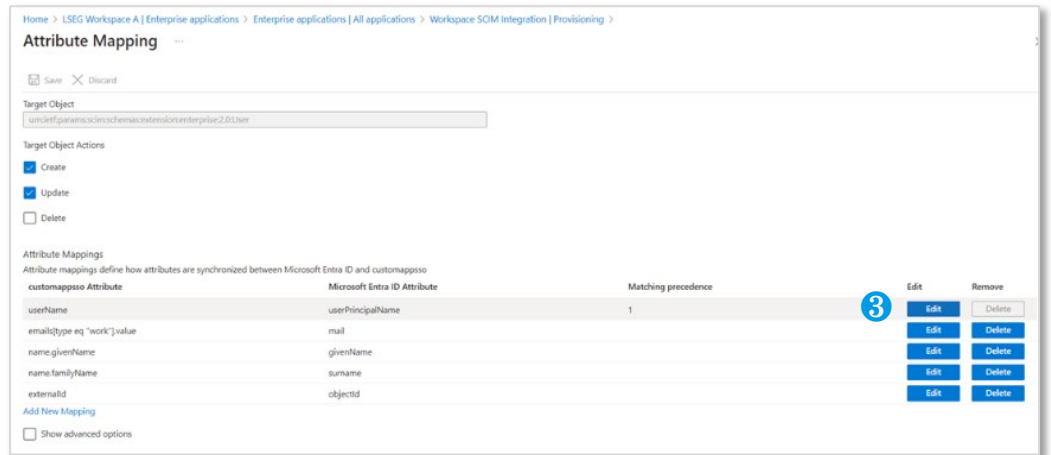
## 一致しない userName の変更

Entra の UserPrincipalName が SCIM の userName と一致しない場合は、userName と一致する別の Entra 属性を使用するようにマッピングを変更する必要があります。

手順は次のとおりです：

- userPrincipalName の横にある [Edit] ボタンをクリックします③。

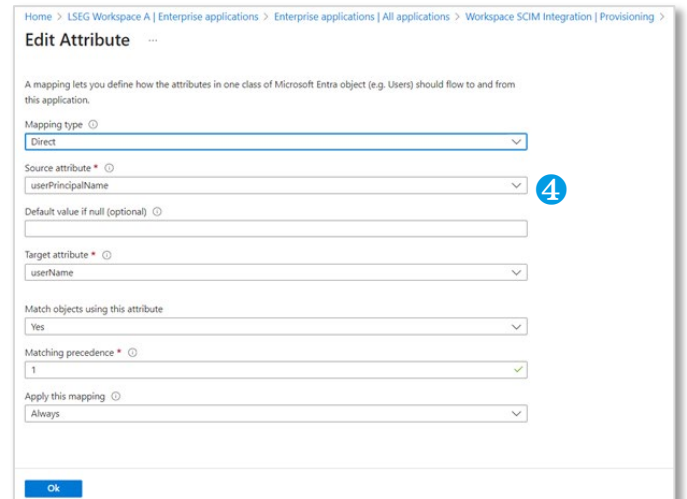
[Edit Attribute] パネルが開きます。



## 既存の Entra 属性のマッピング

既存の Entra 属性を SCIM の userName にマッピングするには、以下の手順に従います。：

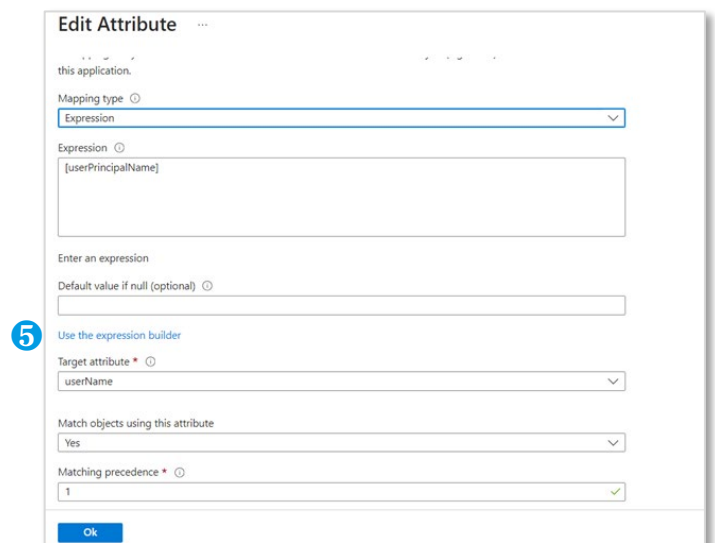
- [Source Attribute] フィールドで、▼をクリックしドロップダウンメニューを開きます④。



## 属性マッピングのカスタマイズ

既存の Entra 属性のいずれも SCIM の userName と一致しない場合は、以下の手順で属性マッピングをカスタマイズします。

1. [Mapping type] ドロップダウンを開き、[Expression] を選択します。
2. [Use the expression builder] を選択します⑤。





「Expression builder panel」が開きます。

このパネルでは属性の変換や結合を行うためのカスタム式を作成できます。

例えば：

- 名（First Name）と姓（Last Name）を連結する
- メールアドレスの形式を整える
- 条件付きロジックを適用する

式の作成には、Join()、Append()、Replace() などの利用可能な関数や演算子を使用できます。

カスタム式の作成方法の詳細については [Reference for writing expressions for attribute mappings in Microsoft Entra Application Provisioning](#)。

## Expression Builder 使用

このセクションでは Expression builder を使用して employeeId 属性を @lseg.com ドメインに結合し、userName 属性をカスタマイズする例を紹介します。

これを実行するには：

1. 「Select a function」ドロップダウンメニューから、「Join」関数を選択します。⑥。

これは employeeId 属性と @lseg.com ドメインを結合するために使用し<sup>9</sup>

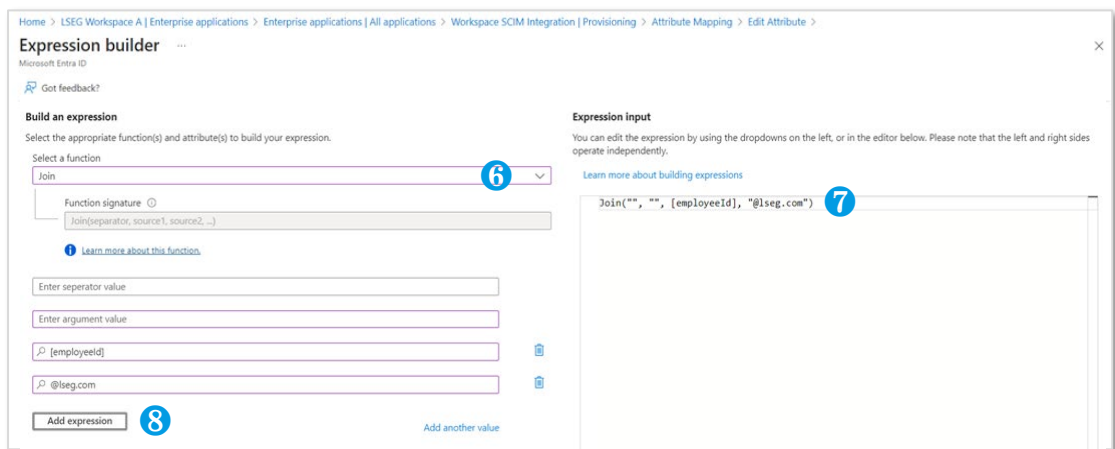
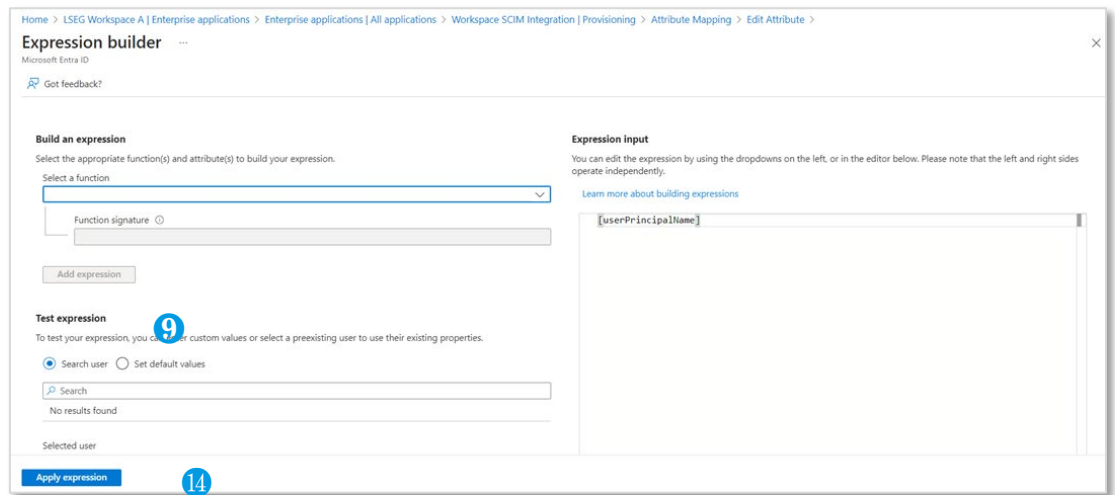
「Expression input」パネルに表示されている構文に従って定義する必要があります。⑦。

2. 「Add expression」ボタンをクリックします。⑧。

「Expression input」パネルの右側に、式の構文が自動生成されます。⑧。

3. 式をテストするユーザーを選択するには、Expression Builder パネルの「Test expression」セクション（前ページ参照）で、次の操作を行います⑨

- a. 「Search user」ラジオボタンを選択します。⑩。
- b. その下のフィールドで⑪ユーザー名の入力を開始します。一致するユーザー名がドロップダウンリストに表示されます。



<sup>9</sup> 属性名の入力を開始すると、一致する属性の一覧が表示され、その中から目的の属性を選択できます。@lseg.com のような固定値（静的な値）は、引用符で囲んで入力します（例：“@lseg.com”）。

c. リストテストをから必要なユーザーを選択します。<sup>10</sup>。

d. [Test expression] ボタンをクリックします<sup>12</sup>。

式の実行結果は、[View expression output] フィールドに表示されます。<sup>13</sup>。

この例では、出力結果 x500014@lseg.com が、Entra から SCIM に渡される最終的なカスタム属性となります。この属性は、LSEG の Workspace において Workspace User ID と照合するために使用される重要な属性です。

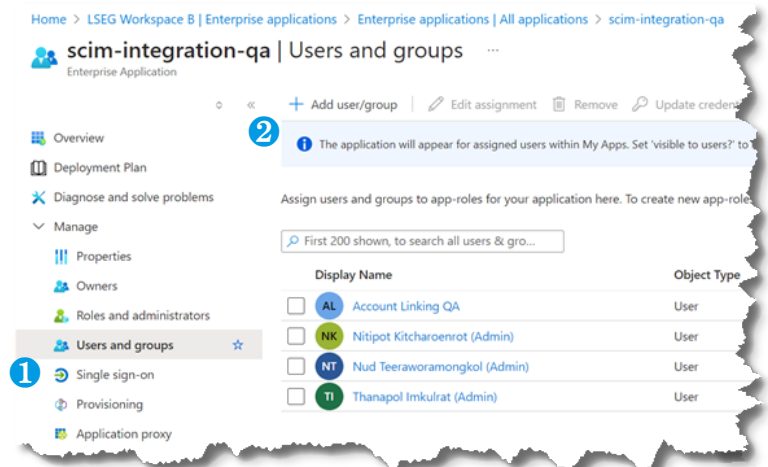
4. 式のテストが正常に完了したら、Expression Builder パネルの下部にある [Apply expression] ボタン（前ページ参照）をクリックします。<sup>14</sup>

<sup>10</sup> 選択するユーザーには式で使用されている必要な属性が含まれている必要があります。

# Admin ポータルでのプロビジョニング

Entra admin ポータルでユーザーをプロビジョニングするには：

1. [Enterprise applications] > [All applications] から対象のアプリケーションを検索して選択します。
2. [Manage] > [Users and groups] を選択します
3. [Users and groups] パネルが表示されます (右図<sup>1</sup>参照)。
4. [Add user/group] をクリックします<sup>2</sup>。  
[Add Assignment] パネルが表示されます。
5. [None Selected] をクリックします。

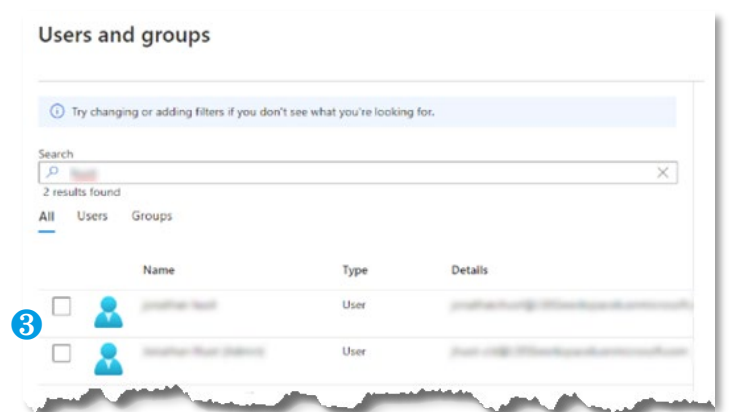


画面右側に [Users and groups] パネルが表示されます。

6. 有効化するユーザーを選択します<sup>3</sup>。

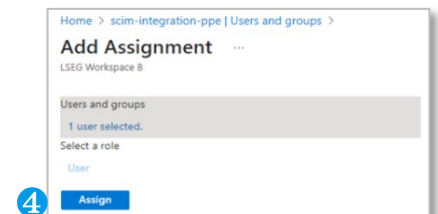
★ ユーザーのグループをアプリケーションに追加することもできます。詳細については、Workspace User Provisioning Guide を参照してください。

7. 対象のユーザーをすべて選択したら、右側パネル下部の [Select] ボタンをクリックします。



8. 左側パネル下部の [Assign] ボタンをクリックします。<sup>4</sup>

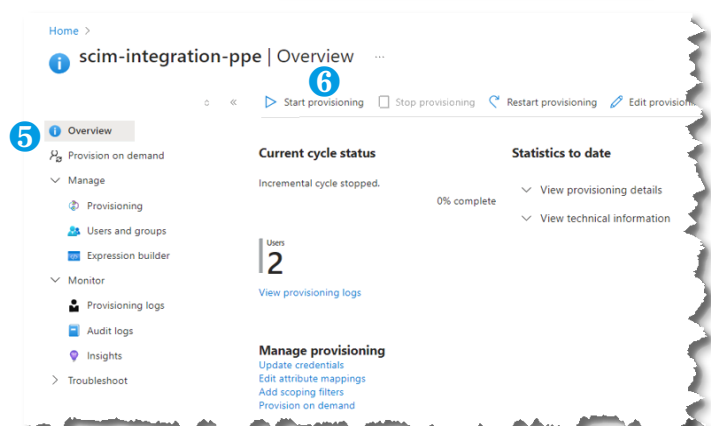
割り当てが正常に完了すると、画面上に緑色のチェックマークが表示されます。



9. [Overview] パネルに戻ります<sup>5</sup>。
10. 手順 6 で選択したすべてのユーザーをプロビジョニングするには [Start Provisioning] を選択します。<sup>6</sup>

プロビジョニングが完了すると：

- [Current cycle status] に 100% complete と表示されます。
- プロビジョニングされたユーザーは、Microsoft Entra の ID が LSEG CIAM に関連付けられ、Entra を使用して Workspace を含む LSEG アプリケーションに認証できるようになります。



11. (任意) さらにユーザーを追加するには、このセクションの手順 1~7 を繰り返してください。

# Admin ポータルでのユーザーのプロビジョニング解除

プロビジョニング解除（deprovisioning）の方法は、次のどちらに該当するかによって異なります。

- Workspace へのアクセスが不要になったユーザーを削除する場合
- 会社を退職したユーザーを削除する場合

## Workspace へのアクセスが不要になったユーザーの削除

Workspace へのアクセスが不要になったユーザーを削除するには：

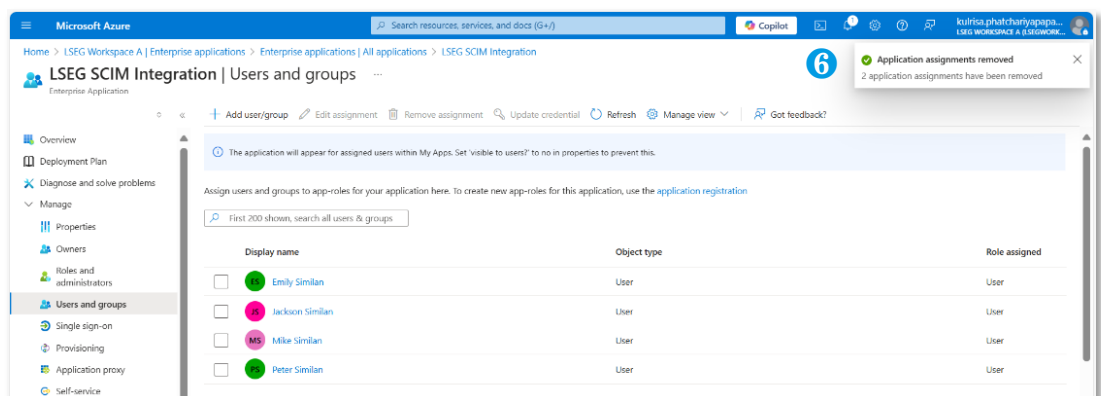
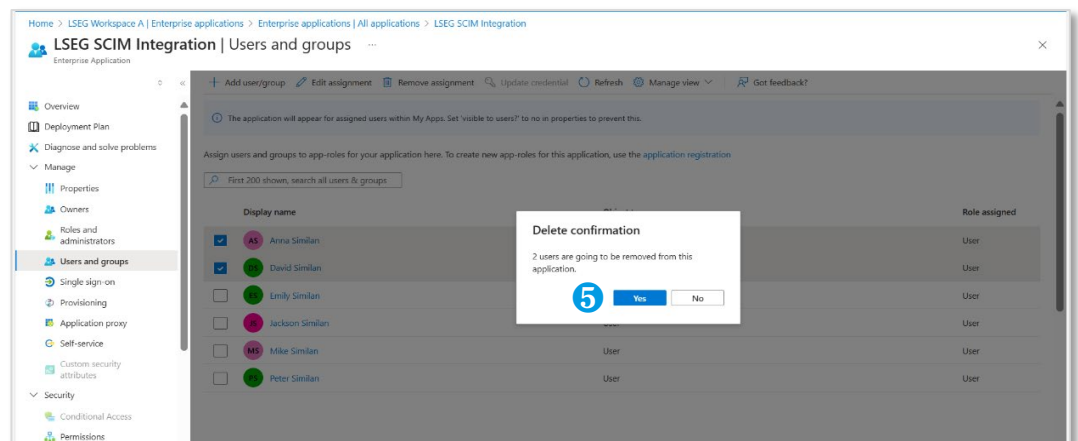
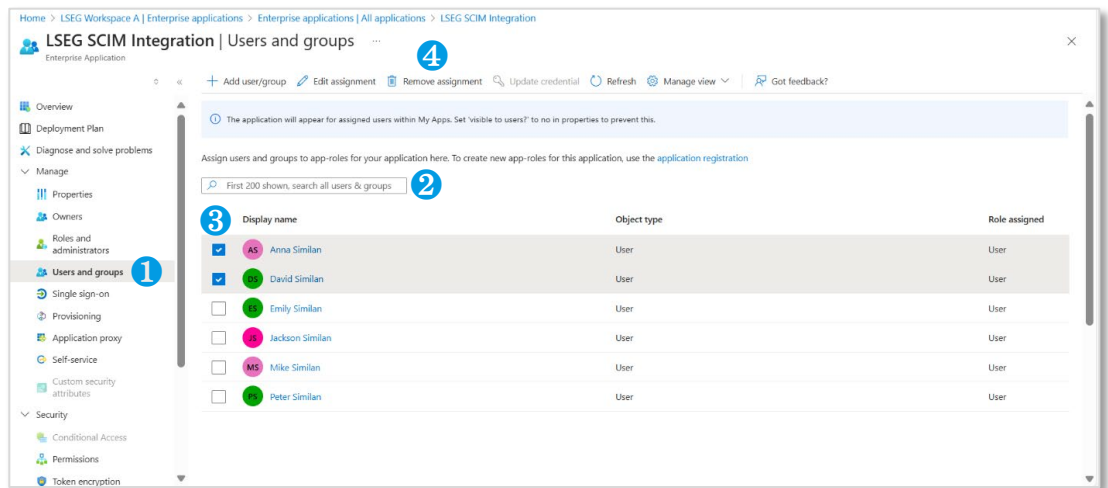
1. Entra テナント内の SCIM Integration アプリに移動し [Users and groups] を選択します。①
2. 検索ボックス②でプロビジョニング解除するユーザーを検索し、対象ユーザー名の横にあるチェックボックスを選択します。③

3. [Remove assignment] をクリックします。④

画面中央に確認ダイアログが表示されます。

4. [Yes] を選択します ⑤

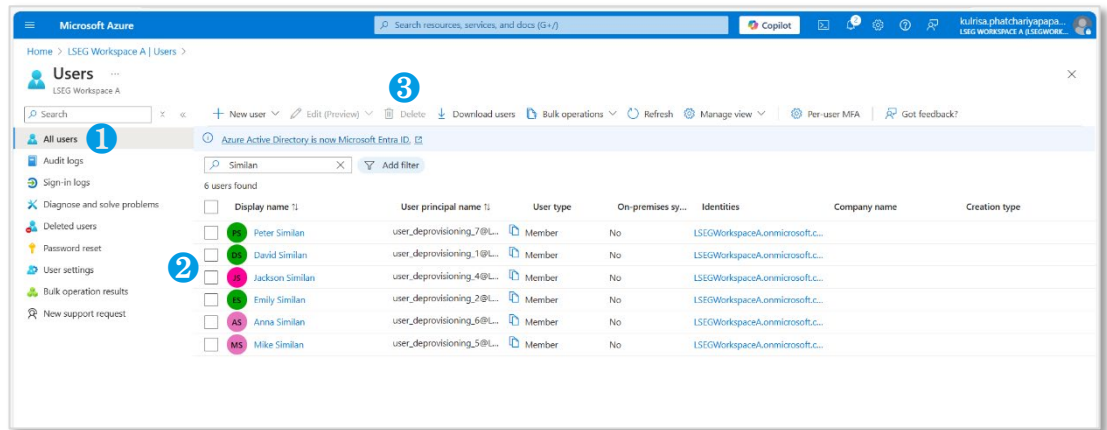
選択したユーザーはアプリケーションから削除され、削除が正常に完了したことを示す通知が表示されます。⑥



## 組織を退職したユーザーの削除

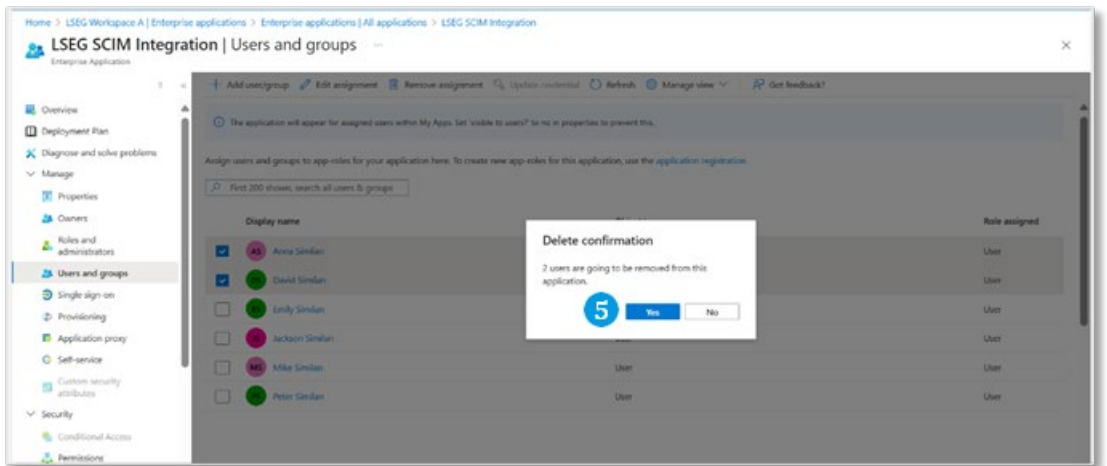
組織を退職したユーザーを削除するには、次の手順を実行します：

1. Azure で [Users] を選択します **①**.
2. 組織を退職したユーザーの名前の横にあるチェックボックスを選択します。 **②**
3. [Delete] をクリックします。<sup>11</sup> **③**.

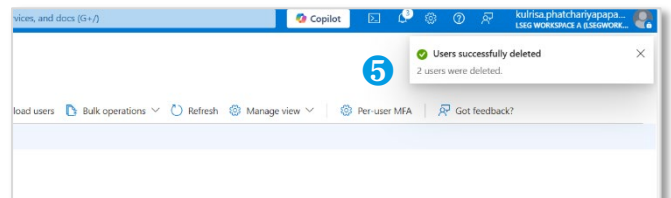


確認メッセージが表示されます。

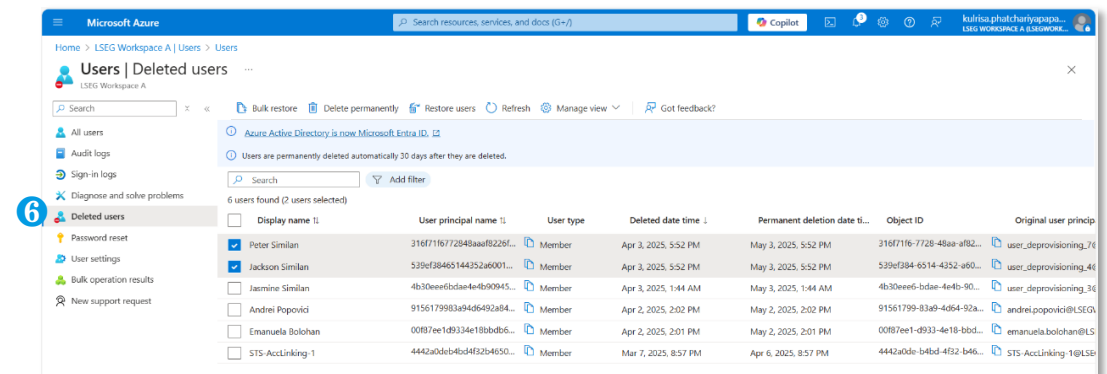
4. [OK] をクリックします **④**.



削除が正常に完了すると、画面右上に 削除成功を示す通知 が表示されます。 **⑤**



- ✦ この方法で削除されたユーザーの一覧は、メニューから [Deleted users] を選択すると確認できます。 **⑥**



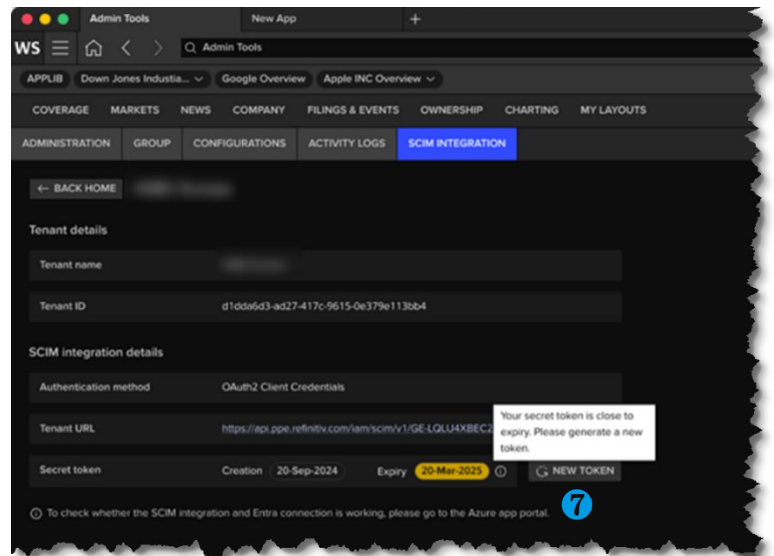
<sup>11</sup> [Delete] オプションは、ユーザーを選択するまでグレー表示のままです。

# 新しい Secret Token の生成

Secret Token の有効期限は 6 カ月です。有効期限の 30 日前になると、日付がオレンジ色で表示され、警告メッセージが表示されます。

Secret Token が期限切れの場合は、Entra テナントと Workspace の再リンクのために新しいトークンを生成する必要があります。

1. Admin Tools アプリに移動します。
2. [SCIM Integration] メニューを選択します。
3. テナント一覧から対象テナントを選択します。
4. [SCIM integration details] セクションから、[New Token] ボタンを選択します。⑦.



# Workspace へのアクセス

このセクションでは、LSEG の認証情報を使用して Workspace Desktop をダウンロードする方法、または Web ベース版にアクセスする方法の概要を説明します。

## Workspace のダウンロード

LSEG Workspace の Windows 版 または macOS 版インストーラー は、以下の場所からダウンロードできます。

| オペレーティング システム | コネクション                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               | インターネット                                                                                                                                                                                               | プライベート                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| Windows       | <a href="https://workspace.refinitiv.com/public/workspace-installer-packages/workspace-installer.exe">https://workspace.refinitiv.com/public/workspace-installer-packages/workspace-installer.exe</a> | <a href="https://workspace.extranet.refinitiv.biz/public/workspace-installer-packages/workspace-installer.exe">https://workspace.extranet.refinitiv.biz/public/workspace-installer-packages/workspace-installer.exe</a><br>または<br><a href="https://workspace.refinitiv.net/public/workspace-installer-packages/workspace-installer.exe">https://workspace.refinitiv.net/public/workspace-installer-packages/workspace-installer.exe</a> |
| macOS         | <a href="https://workspace.refinitiv.com/public/workspace-installer-packages/workspace-installer.pkg">https://workspace.refinitiv.com/public/workspace-installer-packages/workspace-installer.pkg</a> | <a href="https://workspace.extranet.refinitiv.biz/public/workspace-installer-packages/workspace-installer.pkg">https://workspace.extranet.refinitiv.biz/public/workspace-installer-packages/workspace-installer.pkg</a><br>または<br><a href="https://workspace.refinitiv.net/public/workspace-installer-packages/workspace-installer.pkg">https://workspace.refinitiv.net/public/workspace-installer-packages/workspace-installer.pkg</a> |

## Workspace ウェブのアクセス

Entra 認証が有効になっている場合は、次のリンクから Workspace にアクセスできます。

- <https://login.workspace.lseg.com>

✦ インストール手順やその他の技術資料については、[Workspace technical documentation site](#) の Workspace for HERE Core セクションを参照してください。

ただし、Web 版および HERE Core 版ユーザーに対して Entra 認証を有効化しても、Workspace デスクトップ版へのアクセスには影響しません。

また、Entra アクセスが有効なユーザーは、引き続き LSEG から発行された認証情報を使用して、以下の URL から Workspace for Web にアクセスできます。

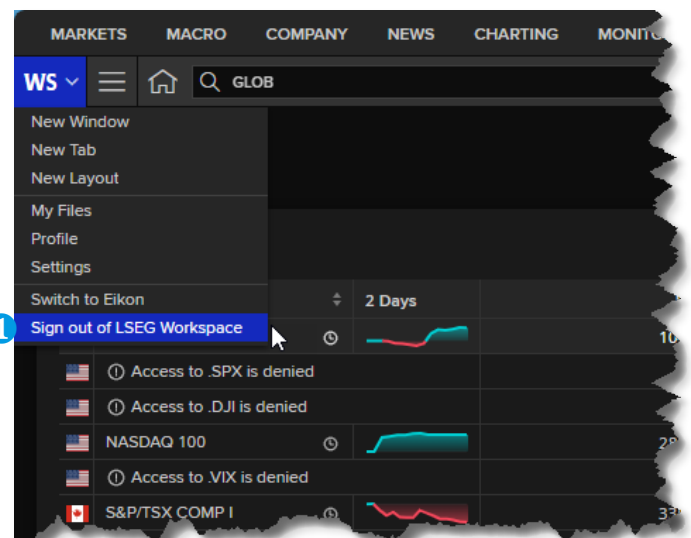
- <https://workspace.lseg.com/web>
- <https://workspace.extranet.lseg.biz/web>

ただし、一度 Entra 経由でログインすると、その後は Windows シングルサインオン (SSO) により Workspace に自動的に認証されるようになります。

Workspace へのログイン方法を LSEG 認証情報に戻すには、次の操作を行います。

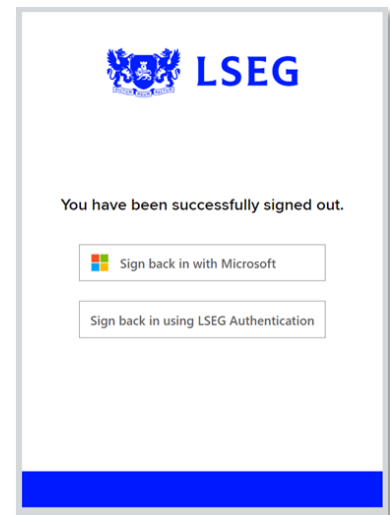
1. [WS] > [Sign Out of LSEG Workspace] を選択します

1





2. 表示されたパネルで、[Sign back in using LSEG Authentication] ボタンを選択します。





# 便利なリンク

詳細については以下のリンクを参照してください。

- [Quickstart: Add an enterprise application](#)
- [Microsoft Entra on-premises application provisioning to SCIM-enabled apps](#)
- [What is automated app user provisioning in Microsoft Entra ID - Microsoft Entra ID | Microsoft Learn](#)
- [Plan a Microsoft Entra Conditional Access deployment - Microsoft Entra ID | Microsoft Learn](#)

## 関連ドキュメント

Workspace for HERE Core に関する詳細については、以下のドキュメントを参照してください:

- [Installation and configuration guide](#)
- [HERE Core FAQ](#)
- [System requirements](#)

© 2026 LSEG. LSEG が事前に書面で LSEG した場合を除き、LSEG が提供するコンテンツを再発行又は再配信（フレーミングその他の方法によるものを含む）することは禁止されています。LSEG は、コンテンツのエラー、中断又は遅延、あるいはコンテンツに依拠してなされた行為につき、何らの責任も負わないものとします。LSEG Data & Analytics ロゴは LSEG およびその関連会社の商標です。

[lseg.com](https://lseg.com)



**LSEG** DATA &  
ANALYTICS